2022年度第3回

大阪市

生物多様性の保全に向けたネットワーク会議

生物多様性の主流化をめざして

<2030年 SDGs 達成に向けて、都市に住む私たちが出来ること>

日時

2023年1月19日(木) 18:30~20:30

※ZOOMによるオンライン会議

定員 100名(先着)

システムへの過度な負担を 避けるため、参加者の 上限を100名とさせて

テーマ

新しい食糧生産と生物多様性

生物多様性の恵みである日々の食べ物はどのように生産されているのか― そんな基準から食料を選ぶ生活スタイルは、「未来の恵みにつながる行動」にもなるでしょう。

最近では、植物工場、陸上養殖、昆虫飼料といった選択肢も生まれています。新たな生産形態が 普及すると、どんな食・生物多様性の未来が考えられるでしょう。みんなで考えてみましょう。

基調講演

食糧生産と生物多様性

平井 規央氏 (大阪公立大学大学院農学研究科 教授)

昆虫の食品・飼料としての可能性

~昆虫は食品及び家畜や養魚の飼料となる~

藤谷 泰裕氏(大阪府立環境農林水産総合研究所 審議役 農学博士)

報告

陸上養殖の可能性~次世代につなぐ水産業~ 奈須 悠記氏(株式会社 陸水 代表)

植物工場と生物多様性

江口 雅丈氏 (大阪公立大学植物工場研究センター 特任助教)

トークセッション

新しい食料生産は生物多様性に寄与するか? 司会 湯川 真理子氏(放送作家・ライター)

主催:大阪市 企画運営:環境事業協会・ネイチャーおおさか共同企業体

基調講演

食糧生産と生物多様性

平井 規央氏 (大阪公立大学大学院農学研究科 教授)

昆虫の食品・飼料としての可能性

~昆虫は食品及び家畜や養魚の飼料となる~

藤谷 泰裕氏 (大阪府立環境農林水産総合研究所 審議役 農学博士)

報告

陸上養殖の可能性~次世代につなぐ水産業~ 奈須 悠記氏 (株式会社 陸水 代表)

植物工場と生物多様性

江口 雅丈氏 (大阪公立大学植物工場研究センター 特任助教)

トーク セッション

新しい食料生産は生物多様性に寄与するか? 司会 湯川 真理子氏(放送作家・ライター)

参加と 構成 市民・環境NPO/NGO、研究者・民間事業者・教育機関・行政、生物多様性保全に関心のある方ならどなたでも参加できます。会議は Zoom ミーティングです。なお、システムへの過度な負担を避けるため、参加者の上限を先着 100 名とさせていただきます。

事前の申込みをお願いします。 会議はオンラインで行います。

<申し込み先>

参加ご希望の方は、下記 URL、または QR コードから参加登録を行ってください。 後ほどメールにて、参加 URL をお送りします。

締切り 1月18日 (水) 20:00

https://forms.gle/WxjoKXpzWwLowiD28

また、ネイチャーおおさかの電子メールからも申し込みが出来ます。

ネイチャーおおさか受付専用 E-mail nwkaigi@n-osaka.jp



<記載事項>

件名:「2022 年第3回生物多様性の保全に向けた NW 会議」

本文: (1)氏名(フリガナ)(2)(団体に所属されている場合)活動団体名 (3)電子メールアドレス

問合せ

なにわ ECO 〒538-0036 大阪市鶴見区緑地公園 2-135

TEL 06-6915-5820 FAX 06-6915-5824

〒530-0041

大阪市北区天神橋筋 1-9-13 ハイム天神橋 202 TEL 06-6242-8720 FAX 06-6881-8103 E-mail office@nature.or.jp

おおさか(公社)大阪自然環境保全協会

スクエア

月曜日、水曜日、金曜日の午前 10 時~午後5時